

## 課題名：自給飼料生産の拡大

### ねらい

十分に登熟しサイレーシ調製に適した水分含量で収穫調製が出来るトウモロコシ2期作栽培体系の確立を図り、酪農家の飼料自給率を高めます。

### 活動地域・対象

活動地域：県下全域

対 象：酪農家、コントラクター組織

### 普及活動の目標

- ①飼料用トウモロコシ2期作栽培体系の確立します。
- ②酪農家の飼料自給率を高めます。

### 目標に向けた活動概要

畜産研究課との連携

- ①1期作目、2期作目とも十分に子実が登熟し、収穫、サイレーシ調製出来る飼料用トウモロコシ品種、播種時期について品種の比較調査を行いました。
- ②飼料用トウモロコシ栽培圃場の土壌調査を行いました。
- ③飼料用トウモロコシサイレーシ(H26年度一期作目)の発酵品質調査しました。
- ④酪農家における自給飼料生産費を調査・報告しました。
- ⑤飼料用トウモロコシ栽培圃場の雑草調査をしました。
- ⑥飼料用トウモロコシの栽培講習会を開催しました。
- ⑦飼料用トウモロコシの二期作栽培マニュアルを作成しました。



汎用型飼料収穫機



細断型ロールベラー



ロールラッピング

図1 新しいトウモロコシの収穫体系

## 普及活動の成果

### ①収量について

1期作目は、乾物率の高いRM110クラスが好適と考えられました。(図1)

2期作目は、台風の影響を受け、播種遅延や、倒伏・折損被害が見られました。そのため、耐倒伏性の高い品種の乾物収量が高い傾向でした。(図2)

### ②施肥について

堆肥投入後の1期作目は有効態窒素分が十分ありましたが、2期作目以降では不足する傾向が認められ、硫酸など適宜窒素施用する必要があります。

### ③品質について

H26年度の1作目のトウモロコシサイレージは、収穫時に台風の影響を受けましたが、良好な発酵状態でした。

### ④生産費について

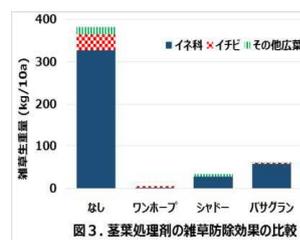
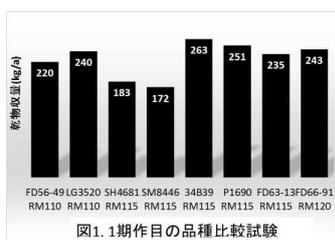
現物で14.0円/kgでした。二毛作栽培面積6haの内、1haを二期作栽培にすることで、年間の飼料費が16万2千円コストダウンすると試算しました。

### ⑤除草剤について

県内で広く利用されているベンダゾン液剤から、ニコスルフロロン乳剤に変更することで、除草効果が向上しました。(図3)

### ⑥栽培研修会の開催

畜産研究課や、外部講師を招き、優良品種、不耕起栽培技術、最新の収穫機械などについて、県内の栽培農家およびコントラクター組合を対象に実施しました。



## 今後の発展方向

①自給飼料の栽培面積の拡大を図るとともに自給飼料の栄養価・品質や反収を高め輸入飼料への依存度の低減を目指します。

②徳島県に適した作付け体系を確立します。

③自給飼料生産費の低減を行い経営の安定化を目指します。

## 関係者からの声

①輸入飼料の高騰が続いており自給飼料の増産にはさらに取り組んでいきたい。

②徳島県に適した飼料作物の品種、作付け体系等の情報を伝えて欲しい。

③土壌診断、試料分析を行いその結果に基づく指導をお願いします。

## 農林水産総合技術支援センター高度技術支援課

連絡先：徳島県名西郡石井町石井1660 tel：088-674-1922